

平成 2 9 年 度

教 育 委 員 会 臨 時 会 (4月) 議 事 録

四條畷市教育委員会事務局

教 育 委 員 会 定 例 会

1 平成29年4月12日(水)午前10時00分 四條畷市役所東別館201会議室において、教育委員会臨時会を開催する。

2 出席委員

教 育 長	森田 政己
教育長職務代理者	山本 博資
委 員	大村 民子
委 員	原 知雅
委 員	吉田 知子

3 事務局出席者

理事(教育環境整備・田原活性化)	開 康成	地域教育課長	杉本 一也
教育部長兼教育環境整備室長	西口 文敏	教育部上席主幹(地域教育課担当)兼主任	村上 始
教育部次長兼学校教育課長	芝田 孝人	学校給食センター所長	林 雅弘
教育総務課長	阪本 律子	図書館長兼主任	永野 国広
教育環境整備室課長	奥 大輔	公民館長兼主任	勝村 隆彦
教育環境整備室上席主幹兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長	木村 実	教育総務課長代理兼主任	櫻井 康弘
都市整備部上席主幹	藤井 道幸	教育総務課	織田 紗樹

4 議事録作成者

教育総務課 織田 紗樹

5 付議案件

議案 第6号 四條畷市教育環境整備計画について

森田教育長	只今から、4月の教育委員会臨時会を開催いたします。
森田教育長	<p>それでは、四條畷市教育委員会会議規則第5条第2項の規定に基づき、会議録署名者の指名を行います。</p> <p>本日の会議録署名者は、原委員にお願いいたします。</p>
森田教育長	<p>それでは、議事に入ります。</p> <p>議案第6号 四條畷市教育環境整備計画について、1点目に一時閉校または休校について、2点目に南中学校在籍生徒の転籍に係る諸課題について、3点目に四條畷市教育環境整備に関するアンケートについてを1点ずつ事務局から内容説明を願います。</p>
木村教育環境整備室上席 主幹兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長	はい。
森田教育長	木村学校教育課人権教育・教科指導担当課長、どうぞ。
木村教育環境整備室上席 主幹兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長	<p>資料の南中学校の「一時閉校または休校」の判断について、説明いたします。3月1日総合教育会議の内容について、確認事項について、また平成29年3月29日教育委員会定例会については割愛させていただきます。</p> <p>一時閉校と休校の違の定義についてです。一時閉校につきましては一時的に学校を閉鎖すること、一時的に閉じること、一時的に活動をやめること。休校につきましては学校ですべての授業を休みにすること。一般的な考え方といたしましては、一時閉校は学校を閉鎖される。復活しない感覚となります。休校は学校は休んでいる。一定期間後再開する見込みがあること。財政面につきましては、一時閉校または休校の期間の長さによって、国として補助金の返還請求の可能性があるということですが、今のところ未定となります。また、教職員人事につきましては、両方とも管理職・教職員を配置する必要なしということになっております。参照事例として、大阪府内の休校事例は一例あり、岬町立孝子小学校が1993年より現在も休校中でございます。説明は以上です。</p>
森田教育長	この件につきまして、一定の方針を決めていくために、質疑等意見交換をしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。
山本教育長職務代理	よろしいでしょうか。

森田教育長	山本教育長職務代理、どうぞ。
山本教育長職務代理	学校教育法や法律の根拠はありますか。
木村教育環境整備室上席 主幹兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長	はい、学校の設置に関しましては、昭和39年1月27日条例第345号四條畷市立学校に関する条例に規定されております。今回、学校が休校であるならば、学校の設置自体はそのまま存続しますので条例を変更する必要はありません。閉校にするならば、条例第2条本市立中学校を次のとおり設置するところの名称、所在地は削除しなければなりません。削除するならば、議会での議決が必要になります。しかし、今回は一時の閉校ということで、条例の変更はございませんので、一時閉校と休校に関して法的な根拠の差異はないということでございます。
大村委員	よろしいでしょうか。
森田教育長	大村委員、どうぞ。
大村委員	参照事例の岬町立の学校の休校の理由は分かりますか。
木村教育環境整備室上席 主幹兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長	在籍人数が少なくなってきたためと伺っております。
吉田委員	よろしいでしょうか。
森田教育長	吉田委員、どうぞ。
吉田委員	財政面の期間が短い場合は補助金の返還請求の可能性があるとのことですが、期間というのは大体決まっているのでしょうか。
木村教育環境整備室上席 主幹兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長	大阪府に問い合わせましたところ、期間については国が判断するものですので、未定ということで、それ以上のことは申し上げられません。
山本教育長職務代理	よろしいでしょうか。
森田教育長	山本教育長職務代理、どうぞ。

山本教育長職務代理	資料から、一時閉校と休校にあまり差はないと考えますが、ただ、教育環境整備計画の中で3つの課題を解消するためにこのような方向性をとって思っておりますが、南中を現状の段階で一時閉校または休校と決めた後、開校などされると思いますが、事務局としてはその後の整備の期間的な目途はどのように考えていますか。どのような条件が変われば次のステップに進みますか。
西口教育部長兼教育環境整備室長	よろしいでしょうか。
森田教育長	西口教育部長兼教育環境整備室長、どうぞ。
西口教育部長兼教育環境整備室長	3月1日の教育総合会議でも共有された内容ですが、南中学校敷地内には活断層があるということで、その正確な位置を特定する調査を校舎内に子どもがいなくなった状態で調査を行うという計画をしておりますので、30年4月以降に調査を実施し、活断層の位置にも影響すると思いますので、その状況をふまえて今後、総合的な判断をくださることになると思います。
山本教育長職務代理	そうすると、30年の調査後、調査期間がどれくらいになるかわかりませんが、1年かかったとして、31年度中には再度、次のステップの決定をしなければならないということになりますか。
西口教育部長兼教育環境整備室長	調査期間につきましては、調査から報告書の作成まで通常ですと約3ヶ月程度ということです。子どもさん達は、一度転籍した場合、心的な配慮から同じ学校を卒業する必要性があるということは一定共有化されている情報と思います。ただ、その時点で活断層の位置が判明した場合、その時には改めて地域住民等の意見をお聞きして、最終的には教育委員会また市長とともに判断していくものと理解しております。
原委員	よろしいでしょうか。
森田教育長	原委員、どうぞ。
原委員	定義を見てあまり違わないと理解しました。そして一般的な考え方の項目で一番気になるところが、復活しない感覚と再開する見込みと分析して示されているところと、財政的なこと、そして教職員人事の管理職等を置かなくて良いということですね。そしたらその先生たちは暁中や西中を充実できる

	<p>ようにそちらに異動するという事で良いですか。</p>
芝田教育部次長兼 学校教育課長	<p>よろしいでしょうか。</p>
森田教育長	<p>芝田次長、どうぞ。</p>
芝田教育部次長兼 学校教育課長	<p>教職員数につきましては、生徒数によって配置されますので、南中の先生方がそのまま暇中あるいは西中にいかれるかということ、まだその時になってみないと生徒数が確定しないので、生徒数が確定してからクラス数が決まって職員の配置数が決定するという事ですので、そのまま分ける訳ではありません。</p>
原委員	<p>確実に数が増えるということですので、先生の数は増えますよね。</p>
芝田教育部次長兼 学校教育課長	<p>その学校に生徒の数が増えるということですので、先生の数も増えるということになります。</p>
山本教育長職務代理	<p>よろしいでしょうか。</p>
森田教育長	<p>山本教育長職務代理、どうぞ。</p>
山本教育長職務代理	<p>環境整備計画を作成した時に南中の活断層の問題というのは、ある程度分かってから校舎の設置をする予定でした。今新たにそこに活断層があるからといって南中の問題がなくなった訳ではないと考えます。あくまでも3つの課題があってその中でも特に大きな生徒数の問題そして老朽化の問題がありましたので、そういう観点から環境整備計画を作ったと理解をしています。今市長のご意向で活断層の問題を解決しない限り、やっぱりしんどいということになりましたので、現行、暇小はそのままその場で、改築等はしなければならぬとは思いますが、あと南中の問題が残ってきたと思っています。それであれば、活断層があるから南中が廃校になり、もし活断層がないから南中がそのまま開校になりと、そのような考えにはならないと思っています。その決定については、活断層の状況が分かるまで先延ばしにするのが良いと私は思っています。</p> <p>前回、一時閉校と休校の法的根拠が分からなかったので一時閉校といいましたが、すべての条件が分かった段階で、もう一度、その時点で3つの課題を総合的に判断して南中について考えていたら良いと考えています。したがって、休校というかたちで、調査が終了した段階で再度判断したら良いのではないかとというのが私の意見です。</p>

森田教育長	他の委員の皆さんはいかがでしょうか。
大村委員	よろしいでしょうか。
森田教育長	大村委員、どうぞ。
大村委員	活断層の調査の期間はもちろんですが、そのことと、本市が抱える教育問題の課題ですが、小規模校という問題は、活断層のことがどちらにいかうと残ってきます。職務代理の意見では安全性が確認された後、3つの課題に振り返ってもう一度南中のことについても確認していくというご意見だと受け取ってよろしいでしょうか。
山本教育長職務代理	市長の話の中で、もしかすれば我々が考えていた人口の問題についてはすぐ市長自身も力を入れて人口増を図ると言われておりますので、そこが我々の思っていた人口の推移とは相当変化する可能性も市長の意気込みの中で思っていますので、そういうことも含めて、諸々とはじめ教育環境整備計画を作った段階とは状況が少し変わるかもしれないと思っています。したがって、将来の予測においては、市長の思いがありますので、そういうことを考えれば、その時点でもう一度判断することも可能かと。ただ、今市が抱えている教育環境というのは劣悪ですので、それを改善したいという我々の思いは変わりませんが、休校または閉校の判断はしなければならぬと考えています。
原委員	よろしいでしょうか。
森田教育長	原委員、どうぞ。
原委員	少人数の件に関しては、小学校中学校だけではなくその前に幼稚園があると思います。南野方面は確実に入園児の数が増えていて、職務代理が仰ったように、3年後やそれ以降、人数が増える可能性もなきにしもあらず。ですので、計画を作成した当時と変わる可能性があるのはそこかなと思っています。
吉田委員	よろしいでしょうか。
森田教育長	吉田委員、どうぞ。
吉田委員	資料の閉校と休校の違いを見て、差がないということであれば、休校にしておいて、ボーリング調査の結果次第ではまた大きな課題がたくさん出てく

る可能性があると思いますが、それを早急に考える必要があると思います。ただ、私は休校という意見に同意が良いと思います。

森田教育長

それでは、これまで議論を進めてまいりましたが、今後、この活断層調査によって、我々が教育環境整備計画を作ってきましたが、人口増を図っていくという案も含みながら、まずは調査を進めていくということで、一時閉校または休校と大きな差異がなければ、生徒また保護者の心情に配慮したかたちで休校と決定することにご異議はございませんでしょうか。

(「異議なし」の声)

森田教育長

それでは1点目の一時閉校または休校については、一定の方針を決定するというので、これを休校とすることに決定いたしました。

森田教育長

続きまして、2点目、平成30年度に南中学校の生徒達が転籍することに伴い、諸課題が考えられるかと思えます。今日だけで全てが詰めていけるとは思いません。この休校という決定がなされたことによって、考えられる様々な課題について意見をここで出していただき、その意見について考えていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。それでは、諸課題について事務局から説明をお願いします。

西口教育部長兼  
教育環境整備室長

先ほど休校というかたちで決定をいただいたことについて、改めて平成27年3月に策定した教育環境整備計画を策定する際に既に議論、また調査研究を行ってきた事項につきまして、説明いたします。転籍に伴う諸課題につきまして、転籍する学校との交流会をどうしていくのか、教職員人事について、転籍した生徒が疎外感がないように、南中の先生も同じ学校にて転籍してほしいという人事面の話、クラブ活動についても、南中にないクラブもございましてそういったクラブ活動の保障の関係、あと遠距離化に伴う通学路の安全性の視点から防犯灯のLED化だったり防犯カメラの設置といった要望も当時ありました。場合によっては危険個所への人的配置も必要ではないかという議論もありました。また、計画にも掲げておりますが、遠距離化に伴う鉄道やバス等の利用もありました。当時、象徴的なのは自転車通学を認めるか認めないかというお話があったかと思えます。こちらは睨中のある地形に配慮したかたちで自転車は基本的には認めるべきではないといった結果も審議会でもいただきました。このような内容は教育環境整備計画を策定する際にも共有し、先日行いました南中学校区の保護者と市長の対話の中でも質問もいただきましたので、これまでの課題と休校にすることとした課題とは一致すると理解しております。

本日はその中から、自転車通学、バス通学そして電車通学をする場合の考え方やあったり、制服が異なることから財政的な負担をどうするべきかとい



	<p>った資料を一定そろえておりますので、それについて担当の方から説明させていただきます。</p>
<p>奥教育環境整備室 課長</p>	<p>よろしいでしょうか。</p>
<p>森田教育長</p>	<p>奥教育環境整備室課長、どうぞ。</p>
<p>奥教育環境整備室 課長</p>	<p>遠距離化への対応ということで地図をご覧ください。平成30年の新たな校区になりますと、現時点での校区ですと岡山四丁目の新池あたりが四條畷中学校から一番遠い距離と考えられます。こちらを中心に円を引いており、それより遠くなる地域を一部含んでいる地域については黄色で地名を囲んでおります。一部含まない地域は赤色で囲んでおります。まずは距離感を把握いただきたいと思います。続きまして、畷中校区のうちで、新池よりも通学距離が長くなる地区の生徒数を集計しております。地区の一部が含まれている地域は、新1年生が38人、新2年生が36人、新3年生が29人。そして、地区全域が遠くなる地域は、新1年生が30人、新2年生が26人、新3年生が28人。合計して、187人の方が対象になると仮定しています。</p> <p>まず金額面につきまして、全ての生徒を対象としておりますが、自転車通学だとヘルメットや保険代で121万7千370円となります。課題といたしましては、被害者だけでなく加害者になる場合がある、清滝地区における傾斜のある道路事情による危険性、自転車置き場への課題、雨天時の危険性、安全なルートの検証等が考えられます。バス通学におきましては、187人分で定期代1千745万840円の試算となっております。課題といたしまして、定員超による積み残し、交通事情による遅延、体の負担を考えて異なるバス停の利用、学校行事に合わせたダイヤ変更の要望等が考えられます。また、電車通学につきましては、定期代が320万5千180円となります。課題といたしましては、四條畷駅までの距離が遠い地区があり、効果が限定的、通学時間の短縮につながらない等が考えられます。</p> <p>続きまして、転籍後の異なる制服の対象生徒数ですが、南中から西中は2人で、1人あたりにかかる費用は約5万円と想定されますので、2人分で約10万円。また、南中から畷中は155人で、1人あたりにかかる費用は約6万1千円、155人分で約945万5千円。合計して約955万5千円が費用として想定されます。説明は以上でございます。</p>
<p>森田教育長</p>	<p>ただいま説明のあった件について、ご意見、ご質問ありましたらどうぞ。</p>
<p>原委員</p>	<p>よろしいでしょうか。</p>
<p>森田教育長</p>	<p>原委員、どうぞ。</p>

原委員	地図の方ですが、新池よりも長くなるということは、環境的なことは抜きに、距離だけを計算しての数字ですか。
奥教育環境整備室 課長	現時点では、距離だけを想定しております。
原委員	そしたら、例えば、5メートルでも長ければこの数字に入るのですね。
奥教育環境整備室 課長	円ですので直線距離的になっております。畷中から新池まで道路を通った場合の距離は約1.6キロを想定されますので、それを目安に今後検討していきたいと考えております。
原委員	高低差や道路の状況など、いろんな意味で道路の環境も違いますし、数字と違った部分を配慮してほしいと思います。また、1メートルでも範囲がずれていればオーケーなのかと、近い遠いのメートル数でも違うような気がして、この地図からだ、そこが読みづらくて、もう少し分かりやすいとまた違うのかと思いました。
大村委員	よろしいでしょうか。
森田教育長	大村委員、どうぞ。
大村委員	今の件ですけれど、前回の案のこの整備計画の前の段階の時も、すべて事務局の方で歩いて距離、そして状態等も把握されていたということですので、歩いたらどれくらいかかるのかということも、きちっと前教育長とも一緒になって歩かれたということがありますので、具体的になってきたらそういうところも事務局と協力して提案されてくるのではないかと考えています。
吉田委員	よろしいでしょうか。
森田教育長	吉田委員、どうぞ。
吉田委員	いろいろなパターンで出していただいてとても分かりやすいと思いますが、課題がたくさんあるということで、自転車にしても危険であるなという感覚はもちました。南野の方面からだ、自転車で行くよりも、上の方の道を横切っていく方が近いという意見も聞かれました。ただ、道が暗い、危ないということも言われていますので、そういう不安要素を取り除くにはどうしたら良いのかを考えていただければ自転車の要望は少なくなるのではないかと考えているのですが、問題は一番遠いところ、電車も通勤通学の方と

<p>原委員</p>	<p>逆方向になるとお聞きしましたので、一番保護者の方が不安に思っているのは、距離もですが、荷物が多く、それを毎日担いで長い距離を歩くことに、特に雨の日は不安だと思います。今度中学校の方は部活動の倉庫や部屋を作っていたとか新しく検討をさせていただいているので、そういうところをどんどん改善していただければ保護者の不安も軽減されていくと思います。</p>
<p>森田教育長</p>	<p>よろしいでしょうか。</p>
<p>原委員</p>	<p>原委員、どうぞ。</p>
<p>西口教育部長兼 教育環境整備室長</p>	<p>通学路に関することですが、今はいろんな事件がおこるので、距離が遠いことに関しては自分の体をつくると言って頑張りなさいと言いますが、通学路は自転車だけの問題ではなくて、防犯的な問題、特にクラブ活動をしていると暗くなると思いますが、そこが一番心配だと思いますがいかがでしょうか。</p>
<p>森田教育長</p>	<p>よろしいでしょうか。</p>
<p>西口教育部長兼 教育環境整備室長</p>	<p>西口部長、どうぞ。</p>
<p>山本教育長職務代理</p>	<p>今ご指摘の件についてはまさに27年3月策定の教育環境整備計画においても課題として認識しておりましたので、その当時は蛍光灯をLED化、より明るく長持ちするような防犯灯に変えていくということと、加えて防犯カメラですが、防犯カメラがあるから犯罪が減るというのではなく、このまちは防犯カメラがたくさんあるので悪いことはしにくいというまちづくりの観点から、今年度においても各小学校区に7台の防犯カメラの設置が予定されております。今年度においては市内49台、そしてかねてから実施してきた地区の負担による防犯カメラもございますので、そのような環境づくりはございますので、今後も研究を重ねながら、効果検証をして、必要とあれば教育委員会の方からも求めていきたいと思っております。</p>
<p>森田教育長</p>	<p>よろしいでしょうか。</p>
<p>山本教育長職務代理</p>	<p>山本教育長職務代理、どうぞ。</p>
<p>山本教育長職務代理</p>	<p>地区別の人数の表はフラットになってて分かりにくい部分もありますが、過去に審議会の中では、自転車通学については下校時の事故を心配されて、すべきでないというご意見が特に地区の方からは多かったと認識しております。</p>

	<p>す。実際行われるか分かりませんが、前回の計画の時もスクールバスを検討したことがありましたので、一度スクールバスを走らせた時の金額を資料として欲しいというのが1点です。もう1点、制服・体操服の問題についてですが、実際に学校が変わって、子どもの気持ちを考えたら自分だけ違う制服でというのは気になるのですが、別にそれを気にしないのであれば、そういうことも可能であるかということの検討も必要ではないかと思います。南中の場合でしたら、新2年生については、1年いるだけで新しい制服に変えなれないといけないのかという発想もありますので、選択ができないのかも検討していただけたらと思います。</p>
<p>森田教育長</p>	<p>今現在も、他市や他府県から転校してきた生徒について、制服はそのままでも可という方針が行われてきたかと思います。それは子どもたちの判断に任せられていると思います。他にも制服で、今は多様な考え方を認めていこうと、女生徒はスカートではないとダメというのではなくて、いろんな考えをお持ちのお子さんもおられますし、ほとんどの学校では女生徒でもズボン可としておりますので、そこは柔軟に今後対応をしていってもらえるものだと思います。ただ、自分だけが違った制服で何か肩身が狭いというか、自分の居場所が見つけられないのであれば、何らかのかたちで教育委員会としては支援していきたいと思いますが、この件については予算が伴いますので、また、総合教育会議の中で市長と課題については話して詰めていきたいと考えております。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>よろしいでしょうか。</p>
<p>森田教育長</p>	<p>吉田委員、どうぞ。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>新1年生はこちらの補助の対象外だと思っていいのでしょうか。そして今年度、西中・畷中へ自分の判断で入学された方への補助もないということでよろしいでしょうか。</p>
<p>奥教育環境整備室 課長</p>	<p>よろしいでしょうか。</p>
<p>森田教育長</p>	<p>奥教育環境整備室課長、どうぞ。</p>
<p>奥教育環境整備室 課長</p>	<p>現時点では、今の南中の制服をもっている生徒を対象にしていますので、新たに要は2着目を買う生徒だけを対象にしていますので、南中校区の生徒が畷中へ1年生として入学される場合については、今のところ想定はしていません。</p>

吉田委員	よろしいでしょうか。
森田教育長	吉田委員、どうぞ。
吉田委員	質疑というか、買い替えの補助の期間も話し合っていかなければいけないと思いましたが。新2年生と3年生が、その時は良いとしていても、新しい制服に変えていく子が増えて南中の制服の子が少なくなると、疎外感を覚えてやはり欲しくなるということもでてくると思います。そのような場合にも補助をしてあげられるのかどうかもお知り置きいただきたいと思います。
森田教育長	他に、何かございませんでしょうか。
吉田委員	はい、よろしいでしょうか。
森田教育長	吉田委員、どうぞ。
吉田委員	さきほど休校ということで決まりましたが、南中の記念事業準備委員さんに対しても説明をよろしくお願いいたします。
西口教育部長兼 教育環境整備室長	よろしいでしょうか。
森田教育長	西口部長、どうぞ。
西口教育部長兼 教育環境整備室長	今までの動きで言いますと、南中が閉校するという前提での記念式典への準備委員会が設置されており、会議を幾度か行われていると聞いていますので、その代表の方にも今日の決定事項をお伝えして今後の調整等を図っていきたく思っております。
山本教育長職務代理	よろしいでしょうか。
森田教育長	山本教育長職務代理、どうぞ。
山本教育長職務代理	2点お願いしたいのですが、1点はクラブ活動の継続という課題が出ていますが、現南中のどのようなクラブにどれくらい入っていて、暇中にちゃんと入ることができるのかというのを調べていただきたい。もう1点は、教職員人事について、今の南中の先生方が本市の中で再配置がうまくできるのかについてはおおよその目途はたっているのでしょうか。この計画によって、

森田教育長	<p>どのくらいの教職員が余剰になってくるのか。とりあえずは30年度のそういった資料があればお願いいたします。</p> <p>他に、何かございませんでしょうか。</p>
森田教育長	<p>大きな項目として、通学路、クラブ活動、制服等に関して、今後、いろいろなことが考えられるので、もう少し慎重に詰めて論議を重ねていかなければならないと思いますので、また継続的に審議していくということではいかがでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
森田教育長	<p>それでは、2点目については継続審議とさせていただきます。</p> <p>続きまして、最後の3点目でございます。四條畷市教育環境整備に関するアンケートの内容の確認について、事務局から内容説明をお願いします。</p>
奥教育環境整備室 課長	<p>こちらのアンケートの流れについてですが、1月25日、3月1日の総合教育会議、また、3月29日の教育委員会定例会におきまして、29年4月実施予定の幅広い年齢層に対してのアンケートの内容を決定して実施するというので、こちらの案を作成いたしました。この実施要領に基づいて、説明させていただきます。目的の大きな趣旨としては、幅広い年齢層の方に対してのアンケートという部分と、今回のアンケートを小学校再編の基礎資料とすることとしております。名称は四條畷市教育環境整備に関するアンケート。実施主体は教育委員会内教育環境整備室。対象は市内在住で地域を限定せず、市域を全体として無作為に抽出した各年代千人ずつ、合計5千人。内容は、送付内容につきましては、A4 1枚、表面にご協力のお願いと裏面に総合教育会議の内容、そしてA4両面のアンケート回答用紙でございます。また、返信用封筒も同封させていただきます。アンケート設問概要は合計6問を想定しております。あなた自身について、①教育環境整備計画の周知状況、②計画を知った方法、③統廃合の目的における賛同状況、④計画における不安状況、⑤より良い教育環境に臨むこと、⑥その他という設計となっております。スケジュールについては、本日の臨時会にて案件説明後、内容決定させていただきます。そして4月19日の総合教育会議にて共有を行い、20日に発送予定です。広報といたしましては、市ホームページに掲載を予定しております。アンケート回答締め切りは5月10日、下旬に集計を行い、6月下旬に結果公表を予定しております。アンケートの概要については以上でございます。</p>
森田教育長	<p>それでは、このアンケートの内容についてご確認いただきたいと思います。</p>

原委員	よろしいでしょうか。
森田教育長	原委員、どうぞ。
原委員	とてもコンパクトにまとめていると思います。前半は市長が変わられて望まれていた、周知をしていたかどうかということ幅広くということ、前半は置かれていると思います。後半の部分が一番教育委員会としては今後の資料とするということ、大切な部分だと思いますが、元々アンケートというものは温度差があり、例えば子ども政策課が2年ほど続けて該当する乳幼児のお子さんをおもちの方へアンケートを送付したら、4割しか返ってきていません。その事実をふまえて、今回はこのアンケートに関して、この限られた日数の中で、これだけの項目しかできないと思います。内容については特に何も思いませんが、コンパクトになっている分、少しぼやけているかなという印象をもってしまいました。そこはいたしかたないとして、まずは回収率、返送率を5割にもっていくための、なんらかの努力というのはどのように考えられていますか
奥教育環境整備室課長	よろしいでしょうか。
森田教育長	奥教育環境整備室課長、どうぞ。
奥教育環境整備室課長	仰いましたように、回答率というのはなかなか想定が難しい部分ではあります。国の公的調査であれば回答率は良いのですが、今回のアンケートにつきましては法的根拠はございません。任意のアンケートになりますので、本市において総合計画等のアンケートにおいても、大体30%から40%の回答率という数字が出ております。今回の工夫といたしましては、まずは設問項目を厳選する、記入者負担を減らすといことで、アンケートの文字が小さいと記入者が拒絶してしまいますので、まずは文字のポイントを維持しつつできるだけ内容をコンパクトにまとめて分かりやすくするという部分を想定して案を作成いたしました。また、返信用封筒につきましても、切手不要になっているのと、裏面も、のりがついているものを用意しましたので、なんとか記入者の負担を減らすということについては、限られた時間でできることは取り組んで、この状態で実施したいと思っております。
吉田委員	よろしいでしょうか。
森田教育長	吉田委員、どうぞ。
吉田委員	回収率をあげるということでも必要だと思いますが、スケジュールを見る

<p>奥教育環境整備室 課長</p>	<p>と4月20日ホームページに掲載とあります。周知の仕方として、ホームページを見ている方がどれくらいと考えると、広報誌に載せていただいた方がより広い方に周知できると思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>奥教育環境整備室 課長</p>	<p>周知方法といたしまして、非常にタイトなスケジュールという部分と、広報誌の発行の日程の影響がございます。スケジュールを組み立てるにあたり、回答期間は2週間が一般的ですが、ゴールデンウィークをはさみますので3週間程度となっております。そして広報誌の発行が本市は15日発行となっており、本日の決定を受けてからの掲載となりますので、4月号には掲載できないということになります。もし広報誌に掲載するというのであれば、回答締切りの期限をずらすである等の対応が必要になってきます。</p> <p>1点、修正でございますが、アンケート用紙表面の住んでいる地域にですが、楠公地区において何丁目という記載が漏れておりましたので、この場を借りて、訂正をお願いいたします。</p>
<p>森田教育長</p>	<p>5月号広報誌に掲載するというのであれば、回答締切りの期限を変更することも可能ということでしょうか。</p>
<p>奥教育環境整備室 課長</p>	<p>5月号広報誌の掲載を想定するのであれば、5月15日が広報誌の発刊日となりますので、回答締め切りを5月19日（金）もしくは22日（月）に延ばさせてもらいまして、集計等のスケジュールを変更して実施することは可能であると考えております。</p>
<p>山本教育長職務代理</p>	<p>よろしいでしょうか。</p>
<p>森田教育長</p>	<p>山本教育長職務代理、どうぞ。</p>
<p>山本教育長職務代理</p>	<p>今の件ですが、広報誌で発行されてから家庭に届くのは日数を要すると思いますので、土日はさんで22日（月）の方が良いかと思います。それから、何点か。まずこのアンケート自身が、現環境整備計画を作るときにご意見等については結構なところから詳しくいただいたと認識しております。ただ市長の判断として、そうは言っても、市民の隅々まで通っていないというご意見があったので今回また環境整備に関するアンケートをすることとなったと認識しておりますので、すごく細かい点についていろいろご意見をお聞きするのはなかなか答えにくいと思いますので、こういう質問項目程度で聞かれるのが良いかなと個人的には思っています。</p> <p>アンケートの項目で少し分かりにくいところがありますので、事務局のご意見をお願いします。1点は、見る方が最初から丁寧に読んでアンケートに臨むということは少ないと思いますので、③の学校統廃合と書かれま</p>



	<p>すと、現一番問題になっている南中のことだと思わないかと。見たときに分かっていたために、小学校統廃合と入れていただく方が分かりやすいと思います。それから、④がいろいろな意見がありますので、不安に思う項目と書かれていますが、私はアンケートでは不安というよりはどのようにするのが良いのか、その中で何が問題なのかといった問い方をしていく方が聞きやすいかなと思います。これはこだわりませんが、④と⑤を入れ替えていただく方が分かりやすいかと思いました。そして⑤の中で、今回の環境整備で望むことの中の少人数教育というのが、少人数学級なのか学校なのか、分かりにくいと思います。また、時間外学習というのが、フォローアップ教室に認識がある方は分かりますが、放課後や土曜日といったこととは思いますが、カッコして放課後と記載するなどしないと分からないかと思いました。</p> <p>また、私が優先順位をつけていくと、私の1番がここに入っていないでした。それは、学校の再編統合をするということは、1年生から6年生まで、6年間過ごすということは、他の人との交流が少ないということが問題です。クラスの中で孤立をしている子どもは6年間孤立してしまいます。言葉は考えていただければと思いますが、多くの友人と交流できる、出会えるというような項目がなかったので、入れていただけたらありがたいと思います。</p>
吉田委員	よろしいでしょうか。
森田教育長	吉田委員、どうぞ。
吉田委員	④の計画中の不安という項目の中に、学習面についての不安という項目がありませんが、この不安の項目は何を根拠に4つあげられたのかお伺いします。
奥教育環境整備室 課長	<p>山本職務代理のご意見につきまして、まず1点目、アンケート③の中学校の統廃合と誤解されかねない件について、小学校統廃合と記載するか、その上部に小学校の再編と記載がありますので、そちらに表記をあわせるかたちで案を提案させていただきます。続きまして、④と⑤を入れ替える件について、一般的な設問としては、賛同できる項目があつて不安な項目があつて、そして最後に望む項目があるという流れになっておりますので、この順番が記入者にとってフラットに聞けるかと思っております。続きまして、⑤の設問につきまして、少人数教育という部分については、例えば少人数教育の充実などの文言に、そして時間外学習については放課後等の学習に文言を変更するのが良いかと考えます。最後、多くの児童と触れ合う環境という部分が記載されておりませんので、計画を進める柱でもありますので、項目を追加させていただければと思います。</p> <p>吉田委員のご質問につきまして、こちらは今までの意見等をふまえ、整備室の方で案を考えました。いろいろな不安が考えられますので、記載されてい</p>

	<p>ない部分についてはその他というところに集約させていただければと思います。以上でございます。</p>
森田教育長	<p>委員の皆さん、他に何かございませんでしょうか。</p>
奥教育環境整備室 課長	<p>よろしいでしょうか。</p>
森田教育長	<p>奥教育環境整備室課長、どうぞ。</p>
奥教育環境整備室 課長	<p>アンケートの表面、回答項目のところですが、質問の後に4月2日現在と記載しておりますが、これはいつ時点の情報かを聞くために記載しております。しかし一番上に4月1日現在という記載がありまして、記入者の混乱をまねく恐れがありますので、4月2日現在という文言をはずさせていただいて、4月1日現在だけで良いかと思えます。</p> <p>また、子どもの年齢については未就学から小学校低学年、高学年、中学生、15歳以上とありますが、年齢が何歳か分かりづらいということで、下に小さく年齢を記載しています。こちらは、年齢より学年で記載する方が分かりやすいのではないかと思います。</p>
原委員	<p>よろしいでしょうか。</p>
森田教育長	<p>原委員、どうぞ。</p>
原委員	<p>その件で言えば、その下の「子どもはいない」という項目が、上記に該当する子どもはいないという表記にさせていただいたら、まったくいないのか、30歳の子どもがいるのか、分かりにくいと思えます。</p>
奥教育環境整備室 課長	<p>当初の設定としては、確かに分かりづらいところだと思いますが、基本的には共に生活している世帯というイメージでございます。世帯の方で、同居しているのであれば、「15歳以上」にチェックをつけていただく。そして、独立している場合は「子どもはいない」にチェックをつけていただくと。</p> <p>ここで1つ訂正ですが、「15歳以上」という文言を「左記以外」と修正した方が分かりやすいのではないかと思います。</p>
吉田委員	<p>よろしいでしょうか。</p>
森田教育長	<p>吉田委員、どうぞ。</p>
吉田委員	<p>多分、これを受け取った方は、同居のくだりは考えずに書かれると思いま</p>

	<p>す。なので、もしそういう対象方法があるのであれば、一言書くか学生に限るか、と思いました。30歳の子どもがいたとして、同居はしていなくても子どもはいるので、と思いました。</p>
森田教育長	<p>今の我々の質問等を受けて、事務局の方で整理していただくということによろしいでしょうか。</p>
大村委員	<p>1つよろしいでしょうか。</p>
森田教育長	<p>大村委員、どうぞ。</p>
大村委員	<p>より良い教育環境のところで、教育振興ビジョンの英語教育や道徳教育等あがっているのですが、図書や英語が入っているのであれば、体力の項目が必要ではないかと思いますが。</p>
奥教育環境整備室課長	<p>⑤については幅広く望むこととなっております。計画の方にも記載があるものということで、項目に追記させていただければと思います。</p>
原委員	<p>よろしいでしょうか。</p>
森田教育長	<p>原委員、どうぞ。</p>
原委員	<p>大村委員が仰った部分で、優先順位をつけると考えたときに、より良い環境というのは、私が考えるのはまず人的なこと、物的なこと、時間の組み合わせ、場所、そして内容だと思えます。その時に、項目の順番が飛び飛びでするので、カテゴリを整理して分けたら理解しやすいのではと感じました。</p>
奥教育環境整備室課長	<p>並び順につきましても、分野ごとに分かりやすいように修正をさせていただければと思います。</p>
大村委員	<p>よろしいでしょうか。</p>
森田教育長	<p>大村委員、どうぞ。</p>
大村委員	<p>アンケート自体のことではなくて、ご協力をお願いしますの1枚ですが、写真がある方ですが、すごく大事なことが書かれていると思います。ルビがふってあることもあって、ぱっと見たときに、見にくいと私は感じました。写真に興味をひくという狙いもあると思いますが、紙面の関係でこれをとって文字を見やすくする方が良いのではないのでしょうか、</p>

吉田委員	よろしいでしょうか。
森田教育長	吉田委員、どうぞ。
吉田委員	アンケート裏面の一番はじめの、計画のことを最初に知ったのはどのようにしてですか。という質問で複数回答可というのは、最初に知ったのは1つで良いのではないかと思いましたが。
西口教育部長兼 教育環境整備室長	よろしいでしょうか。
森田教育長	西口部長、どうぞ。
西口教育部長兼 教育環境整備室長	計画を周知するにあたり、いろいろな機会を我々設定しながら周知してきたことがありますので、最初に知ったということでありますと、その後に啓発活動をしている結果が出ていませんので、「最初」という言葉を除き複数回答可とさせていただきたいと思えます。
森田教育長	他にご意見、ご質問等ありませんか。
奥教育環境整備室 課長	よろしいでしょうか。
森田教育長	奥教育環境整備室課長、どうぞ。
奥教育環境整備室 課長	アンケートの回答期限の締切日につきまして、5月号広報誌にご協力のご依頼を載せるかたちでいきますので、回答の締切日を5月22日(月)に修正させていただきたいと思えますが、よろしいか伺いたいと思えます。
森田教育長	当初、5月10日が締切日でしたが、広報誌等の関係で、5月22日(月)に変更ということですが、これについてはご異議ございませんでしょうか。  (「異議なし」の声)
森田教育長	いろいろなご意見ありがとうございました。今まで出された意見をふまえて手直しをしていただき、アンケート項目とさせていただきたいと思えます。
森田教育長	それでは、1点目の一時閉校または休校とする件については、休校と決定いたします。2点目の休校に伴う諸課題については、本日この場で細かい部分までは

	<p>無理がありますので、継続審議とさせていただきます。3点目のアンケートの内容につきまして、いろいろとご意見をいただきました。内容項目については概ねこのままで、あとの細かい部分については事務局にお任せということです。</p> <p>それでは、ここでおはかりいたします。議案第6号 四條畷市教育環境整備計画について、原案のとおり可決することに異議ございませんか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議がないようですので、議案第6号については原案のとおり可決することに決しました。なお、ただいま可決いたしました第6号の取扱い及び字句等の整理につきましては、教育長に一任することにご異議ございませんか。</p> <p>(「異議なし」)</p> <p>異議なしと認めます。議案第6号の原案の取扱い及び字句等については教育長に一任することに決しました。</p> <p>それでは、以上で、本日予定している案件の審議は、すべて終了しました。これをもちまして、定例会を閉会いたします。どうもお疲れさまでした。</p>
森田教育長	
森田教育長	
森田教育長	

上記会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

平成29年4月24日

四 條 畷 市 教 育 長                      森 田 政 己

四條畷市教育委員会 委 員              原    知 雅